

生きよう！ 共に、前へ！

－復興パネル展示の案内－

東日本大震災から早二ヶ月が経過したにもかかわらず、お見舞いに伺った宮城県亘理町の被災地は、道路の瓦礫だけは撤去されたものの、建物には瓦礫が詰まって残っており、ほとんど手つかずの状態です。このような中でも、保育園・幼稚園の保育者たちは、子どもたちの心のケアのために、ある所では、保育を再開して、卒園・入園にこぎつけて平常保育を行っており、また、ある所では、保育を再開できないものの、避難所で子どもたちと一緒に遊んだり、さまざまな取り組みがなされています。

本展示では、震災は保育現場にどのような被害をもたらしたのか、その時、保育者たちは子どもたちの命を守るためにどのように対応したのか、震災後、子どもたちの心のケアのためにどのような取り組みを行っているのか、写真や新聞記事を通して展示を行います。準備期間も短く、混乱状況の中で用意しているので、大震災を包括的にとらえたものにはなっていませんが、多くの方の協力で写真を収集することができました。以下の内容で展示の準備をしています。

1. 宮城県亘理町の被災状況

被災した菊地映子さんのいとこの方の協力で写真を提供していただきました。三陸海岸と違って津波など起きないと思われていた、仙台平野の南端の被災状況が映し出されています。大地震・津波が起きたときに、菊地映子さんは、自宅におり、津波がくるといことで、車で近くの荒浜保育所に向かって、子どもを車に乗せて荒浜中学校に向かい、助かることができました。その後、自衛隊のヘリコプターで救出され、避難所でキッズコーナーを設営して子どもたちを見守りました。その軌跡をたどってみたいと思います。

2. 保育現場における被災の現実

・名取市閑上・若葉幼稚園

尚絅学院大学の岩倉先生が撮影した写真をお借りすることができました。

・亘理町荒浜保育所

菊地映子さんの協力により、保育所を撮影することができました。5月5日子どもの日現在、建物は残っているものの瓦礫が詰まったままでした。保育用品だけでなく、漁業の道具まで部屋に入り込んでいます。なぜか、津波に埋まったはずの小さな八重桜が園庭に1本花を咲かせていました。

3. 保育者たちの奮闘する姿

収集した新聞記事から保育者たちの子どもたちを守る多様な取り組みを紹介します。

4. 被災した保育園の震災後の営みを写真で紹介します。全国集会後に訪問する予定の石巻・なかよし保育園の協力を得ることができました。

5. 復興の歴史に学ぶ

- ・戦災からの復興

東京の焼け野原の青空保育からの保育の出発を写真で紹介します。

- ・伊勢湾台風時の「レンガの子ども」の実践

河本ふじ江さん、ひとなる書房の協力で写真を提供していただきました。

- ・阪神・淡路大震災からの復興

兵庫県保育運動連絡会の増田さんの協力で写真を提供していただきました。

以上、5部構成を予定しています。ご期待ください。